



基本方針Ⅳ：生物多様性と子どもたちの関わりを増やします。

施策の方向性 1 1. 子どもたちを中心とした生物多様性を学ぶ場の充実

施策⑫：生物多様性を学ぶ場と機会の創造

◆趣旨

藤沢市の子どもたちは海・川に比べ山・森・林などの里山環境での自然体験が少なくなっています。里山環境など身近な自然を日常的に体験できる場と機会の創出を図ります。

◆取組内容（令和3年度～令和5年度）

- 里山環境などで、子どもたちが日常的に遊べる場と機会の創出を図ります。
- ボランティア活動拠点の拡充により、イベント開催や情報発信などを行います。
- 学校が進める生物多様性に関する取組を支援します。
- 小中学生が生物多様性を身近に感じることができる表彰制度を検討します。

◆各主体に期待される役割と市の役割

関連する主体	役割
市民	子どもの体験の支援
事業者	体験緑地の場を提供
大学などの研究機関	イベントなどへの協力
市民活動団体	イベントの開催や情報発信
藤沢市	イベントの開催や情報発信

◆実行プランに位置づける藤沢市の目標設定

取組内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1. 日常的に遊べる里山環境の創出	創出の継続	創出の継続	創出の継続
2. 子どもを中心とした里山環境での観察会やイベントの開催または支援	開催または支援	開催または支援	開催または支援
3. 学校が進める生物多様性に関する取組の支援	取組を支援	取組を支援	取組を支援
4. 表彰制度の創設	内容の検討	実施	実施

※ 他の施策と共通性の高いものについては、併せて実施する場合があります。

- ◆「藤沢市生物多様性地域戦略」の取組（独自事業）と既存計画関連の取組（関連事業）との連携を緊密に行うことで、「生物多様性への全ての影響（危機）」の回避を目指します。 ※2 頁参照

◆「藤沢市生物多様性地域戦略」の取組（独自事業）

(1) 子どもたちが日常的に遊べる山・森・林(里山環境)の創出
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちが山・森・林といった里山環境等の身近な自然と日常的にふれあうことができるように、多様な主体と連携し、引地川親水公園周辺等において、遊びの場と機会の創出を図ります。 ● 多様な主体との連携による子どもを中心とした里山環境での観察会やイベントの開催または支援を行います。 ● 子ども向けイベント情報の集約・発信を行います。 (担当事業課：みどり保全課)
(2) 小中学生向け生物多様性表彰制度の検討
<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学生が生物多様性を身近に感じることができる表彰制度を検討・創設します。 (担当事業課：みどり保全課)

◆既存計画関連の取組（関連事業）

(1) 学校が進める生物多様性に関する取組の支援
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校が進める生物多様性に関する取組を支援します。 ● 学校教育における校内の環境整備や環境教育の推進について支援を行うとともに、教職員に向けた環境教育を含めた研修を計画します。 ● 市内に残された自然を理解し、保全していくために、「藤沢の自然調査員」が調査研究を行い、「ふじさわ教育」を通して情報発信を行います。 (関連事業課：教育指導課)

◇子どもたちが日常的に遊べる山・森・林(里山環境)の創出 ◇



《取組事例》

引地川親水公園に隣接する「稲荷の森（ふるさとの森）」で実施されている森づくりの活動。

写真左：カントリーヘッジ制作／市内企業が実施している CSR 活動の様子。NPO と市が協力。

写真右：落葉溜め制作／市民団体、NPO、企業、緑化事業者、市が協力。

子どもたちが山・森・林（里山環境）等の身近な自然と日常的にふれあうことができるように、多様な主体と連携し、引地川親水公園周辺等において、遊びの場と機会の創出を図ります。